

1月6日（月）

神 の 石 磨 き

聖書朗読 マタイ 4：17～22

イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」
マタイ 4：19

息子が8歳のとき、彼は石に夢中になりました。その時に住んでいた私たちの家の前は砂利道でしたので、彼は喜んでそこで遊んでいました。息子の9歳の誕生日のときに、彼が唯一望んだのは石磨き機でした。それまでは、息子は服のポケットに石を入れて、それを洗濯機で回して石を磨こうとしていたので、洗濯前に石をポケットから全て取り出すのにとても苦労しました。石磨き機が来てからは、その苦労から開放されました。

来る日も来る日も石磨き機は、石に魔法をかけるため音を立てて回りました。待ち望んでいたその日が来ました。石磨き機から出てきた石は、息をのむほどの変わり様でした。磨かれた石は光輝いていました。誰がこの石が砂利道から拾ってきたものだと思像できたでしょう。

イエス様が弟子たちを選びに行ったところは、天幕や宮廷や教養のある上流階級の人々がいるような建物ではありませんでした。イエス様は海辺へ行き、労働者のもとへ行き、軽蔑され嫌われている人々のもとにも行きました。そして彼らにおしゃいしました。『わたしについて来なさい。』そして、イエス様はそのデコボコの石たちをどうしたと思いますか？ イエス様は彼らを磨いたのです。使徒の働き2：4は、弟子たちが聖霊で満たされたときに起こった驚くべき変貌を私たちに伝えています。

デコボコだらけの石？ その石たちのように神様は私たちをお使いくださるのでしょうか？ もちろんです！

聖 歌 580

祈 り 主よ。あなた様の弟子たち代のわりに、私たちのような普通の人々を今でもお用いくださり感謝いたします。あなた様の栄光が私たちを通して光り輝くまで、私たちを磨いてください。

イエス様の御名によって。 アーメン。

マデリン・ピーターソン

ネブラスカ州 ヘイスティングス

今日の力

2014年1月6日～1月12日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

1月7日(火)

ゴミにお金を使わない

聖書朗読 マタ 6:19～21

あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。

コロサイ 3:12

もし、何かに情熱を傾けたら、そのために何かを貯めようと思いませんか？ もしフライフィッシングに夢中になったら、新しい釣竿（本物の竹製の！）を買うために、一生懸命働いてお金を貯めませんか？ 喜びのために何かを貯めようと思いませんか？ 今日の聖書朗読の言葉は逆のように思われます。欲しいものがあって、そのために宝を蓄えませんか？

私は違います。イエス様はご自身が何をお話になっているかよく分かっておられました。欲しいものを買うとき、それは喜びをもたらします。待ち望んでいた価値と充実感に満たされると期待しながら娯楽に興じているとき、心はそれらに囚われます。でも、それらが私を高めたり、心を満たしてくれるものでなかったとわかったとき、私が貯めていたものはゴミとなります。しかし本当は、宝のあるところに、私の心もあるのです。

何を買うか、何に時間をかけるかについて、私たちは賢く思慮深くなければなりません。宝が信仰の道へ導くとき、私たちの心は神に引き寄せられます。神のうちにあって、私の心は本当に満たされ、私の存在は価値のあるものとして高められ、そして私の人生は信仰と真実に満たされます。

讃美歌 第二編 157

祈り 全能の神。御国に仕えるため全力を捧げることができるよう私をあなた様に引き寄せてください。そして、私の全ての情熱をあなた様を心から愛し、隣人を愛することに注ぐことができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

マイク・サンドラース
アイダホ州 ポイズ

1月8日(水)

疲れ果てているあなた

聖書朗読 マタイ 11:25～30

私は私の嘆きで疲れ果て、私の涙で、夜ごとに私の寝床を漂わせ、私のふしどを押し流します。
詩篇 6:6

「おはよう。元気？」、「元気、元気!」。

期待通りの答えの裏に真実があります。ダビデのこの嘆きを最初に聞いた人は、ダビデに何が起きているのかを読み取ろうとします。夜は戦いです。寝たからといって不安や心配が和らぐことはありません。不安と恐怖は回り続ける絶望の回転木馬のように心の中を駆け巡ります。

詩篇6編は、神様に何と言ったらよいのか、お祈りの言葉さえほとんど見つからないときの本当の苦しみと絶望の時の言葉です。そして、神様は私たちの不満を聞いてくださり、それに必ず応えてくださり、嘆きや涙で神様が見えなくなることはないと言っています。詩篇の著者は言います。「主は私の泣き声を聞いておられたので、私の訴えを聞いてくださいます。主は私の祈りを受け入れてくださいます」。

数世紀後、インマヌエルが現れた時におっしゃいました。『すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。』（マタイ 11:28）。暗い夜でも負けません！

讃美歌 242

祈り 主よ。私の暗闇の中で、あなた様の光を見つけることができますように。苦しみの中で安らぎを見つけることができますように。悲しみの中で喜びを見つけることができますように。罪の中にめぐみを見つけることができますように。貧しさの中で豊かさを見つけることができますように。恐れの中に勇気を見つけることができますように。谷間に栄光を見つけることができますように。希望をもたらす約束をしてくださった方の御名によって。

イエス様の御名によって。アーメン。

クリス・フリッツェル
テキサス州 グランバリー

1月9日(木)

き っ か け は 何 で す か ？

聖書朗読 マタイ 14:22～36

「あなたは、生ける神の御子キリストです。」

マタイ 16:16

5000 人の人々に食べ物を与えたその夜、イエス様は弟子たちに舟で向こう岸に行くよう命じました。群集を返した後で、祈るためにイエス様は山に登って行かれました。

7, 8 時間もの間、舟は風と波に悩まされ、どうにもできないでいました。イエス様は水の上を歩いて、弟子たちのところに行かれ、怯えている弟子たちを『しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない。』とおっしゃって弟子たちを励まされました。ペテロがイエス様の元にくるように命じて欲しいと言った時、イエス様は『来なさい。』とペテロにおっしゃいました。ペテロは舟を出て歩いて行きましたが、恐怖で叫びだしました。イエス様はすぐにペテロをつかみ、二人が船に乗り移ると、とたんに風はやみしました。

船の中にいた者たちは、イエス様を拝んで『確かにあなたは神の子です。』と言いました。

疲れ果てた漁師たちはゲネサレの地（おそらく出航地からはたった5キロくらい）に着いたころは、すでに朝になっていました。イエス様に気づいた人々は病人たちをイエス様のみもとに連れて来ました。そしてイエス様の着物のふさにさわった人々は癒されました。その日は弟子たちにとって、改めて主について行くとした日となりました。イエス様は何一つ変わってはおられません。弟子たちが変わったのです。この時、弟子たちはイエス様が神の御子であることを知ったのです！

あなたと私のきっかけは何になるのでしょうか？

讃美歌 323

祈 り 全能の主。あなた様に気がつくよう、私の目を開かせてください。あなた様に気がついたとき、あなた様だけにひざまずき、従い、仕えることができますように。

聖なるあなた様の御名によって。アーメン。

ノーマ・プライビット

カリフォルニア州 サウザンドオークス

1月10日(金)

お茶を一杯飲んで、忘れましょう！

聖書朗読 マタイ 16:21～28

そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいのでしょうか。

マタイ 16:26

ヘンリー・デイヴィッド・ソローの「生き方の原則——魂は売らない」の中で、彼は、ニューイングランドビーチに沿って歩いていたときのことを思い出しています。浜には最近難破した船が放置されていました。浜にはその難破船に積んであったボロキレ、木の実、アーモンドが散乱していました。かなり多くの人の命が失われたようですが、それよりも見に来ていた人々はその流れ着いて散らばっている物に、より興味を示していました。

何人かのイギリス老婦人たちが、初めてシェークスピアの悲劇の一つを見に行きました。彼女たちにとって非常に残念なことに、その舞台の最後は、多くの死体を残して幕を閉じたのです。「なんてこと！」彼女たちの一人が言いました。「こんなに恐ろしい終わり方だなんて信じられない。お茶を飲みに行きましょう。そして忘れてしましましょう」。

ボロキレや木の実やアーモンドより比べ物にならないほど価値のあるものがありますよね。人の命より価値のあるものってあるのでしょうか？ なぜ、神ご自身のかたちに創られた人間が、人の命よりも安物の宝石に心を奪われてしまうのでしょうか？

安物の宝石や、銀行口座、快楽、広大な土地、王位や亜麻布やデニムを追いかけることに人生を捧げようとしまいと問題ではありません。神なく過ごした人生は、どんなに掻き集めても惨めなものにしか交換されません。

讃美歌 331

祈 り 聖なるお父様。イエス様から目を離さないように私たちを励ましてください。イエス様の御名によって。アーメン。

ロバート・W・ローレンス
ネブラスカ州 ヨーク

1月11日（土）

ゲ ツ セ マ ネ

聖書朗読 マタイ 26：36～46

それからイエスは弟子たちといっしょにゲツセマネという所に来て、彼らに言われた。
「わたしがあそこに行って祈っている間、ここにすわっていきなさい。」

マタイ 26：36

ゲツセマネとはエルサレムの城壁の外側にある、美しいオリーブ果樹園のことを言います。園と呼ばれることもあったそのオリーブ果樹園は、イエス様と弟子たちがしばしば祈りを捧げる安らぎの場所として使われていました。ゲツセマネはまた、イエス様が激しい不安や重圧に直面したときに、決断を下す厳かな場所としても使われていました。

ゲツセマネは文字通りには「オイル絞り」を意味します。この園の中で、オリーブは収穫され、大きな石を使って強烈な力でオリーブからオイルが絞られます。この工程を経て、灯りのための燃料、傷を治すための軟膏、身体のための栄養源として使われる貴重なオイルが作られました。

ゲツセマネでは、イエス様は痛みによる激しい苦痛から逃げたいという気持ちと、十字架によって人々を救うという神様の御心に押しつぶされていました。イエス様の血は私たちの行く道を照らし、私たちの罪にまみれた傷を癒してくださり、私たちの乾いた魂に栄養を与えてくださいます。

ゲツセマネにいる自分に気がついたとき、主がしたように私たちもしましょう。祈りを捧げ、お父様の御心を受け入れるのです。祈りの中で、癒しは行われます。

讃美歌 313

祈り お父様。ジレンマに陥ったとき、あなた様の御心を選ぶことができるようお助けください。

イエス様の御名前によって。アーメン。

ローリー・C・キール
テキサス州 キャニオン

1月12日（日）

変 わ る こ と

聖書朗読 マタイ 26：16～20

心の一新によって自分を変えなさい。

ローマ 12：2

「知識を得ることよりも変わること」。何年もの間、私は宗教教育に関わる人々がこの言葉を引用するのを聞きました。この考えに私も賛成です。なぜなら今日の聖句は主の御言葉によって変わることについて言っているからです。事実、キリストのうちにある私たちの人生全ては変わることから始まるからです。

洗礼はその要です。霊的に死んだものから霊的に生きるものへ。許されないものから許されるものへ。罪の衣を身につけているものからイエス様を身にまとうものへ変わることそれが洗礼です。

従うことを知ること、また変わることへの第一歩です。洗礼を受けた後は、私たちは教えを通して変わり続けます。それは信じる者たちの中にはっきりと見ることができます。『互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したようにあなたがたも互いに愛し合いなさい。』これは実際に経験し、実感して始めて分かります。

イエス様が望んでおられる私たちの完成形を知る必要はありますが、イエス様は「私は思います」、「私は感じます」、「普通は」といった言葉で私たちを変えようとしてはおられません。イエス様は「私があなたに命じる全て」に従うようにとおっしゃっておられます。私たちは、自分がどのように変わらなければならないのか知らずには変わることはできまから。

もし自分に命じられているものを知ったとき、それがどんなものであれ私たちはそれを受け入れなければなりません。さもなければ、決して出口を見つけることができない自己欺瞞の道に深く迷い込むことになってしまいます。あなたを変えてくださるのは誰なのか、それを忘れないでいましょう。

讃美歌 第二編 188

祈り 御在天のお父様。あなた様のお名前を崇敬いたします。道であり、真実であり命であるあなた様の御子を通して私たちに真実を明らかにしてくださったとき、その真実に従うことができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

クリス・フリッゼル
テキサス州 グランバリー